



2026年6月16日

各位

会社名 株式会社タムロン
代表者名 代表取締役社長 桜庭 省吾
(コード番号 7740 東証プライム)
問合せ先 経営戦略本部長 松沼 正幸
(TEL. 048 - 684 - 9111 (代))

配当予想の修正（増配）および株主還元方針の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2026年12月期の配当予想の修正（増配）および株主還元方針の変更について決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当予想の修正

(1) 2026年12月期 配当予想

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	10.50	26.50	37.00
今回修正予想	20.00	31.00	51.00
当期実績	—	—	—
前期実績（2025年12月期）(※)	40.00	26.25	—

※当社は、2025年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の配当金は、第2四半期末については当該株式分割前の金額を記載し、期末については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。年間の配当の合計につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため記載しておりませんが、中間配当は当該株式分割後の1株当たり配当金に換算すると10円となり、期末配当とあわせた2025年12月期の1株当たり配当金は合計36.25円となります。

(2) 修正の理由

業績動向等を踏まえ、当社の現行株主還元方針で掲げた総還元性向目標60%に沿う還元を行うとともに、本日付「長期ビジョンの定量目標刷新および次期中期経営計画『Value Up29』骨子の策定に関するお知らせ」（以下「次期中計骨子」といいます。）にて公表のとおり、次期中期経営計画では、より長期的かつ安定的な利益還元の強化に取り組んでいく方針であることに鑑み、今期の配当予想につきましても中間配当金を9.5円、期末配当金を4.5円増配し、1株当たり51円とすることといたしました。

これにより、前期比では中間配当金は倍増となる10.00円の増配、年間配当金は14.75円の増配となり、配当性向は60.1%となる見込みです。

2. 株主還元方針の変更

(1) 変更の理由

次期中期経営計画『Value Up29』が2027年12月期からスタートすることに鑑み、配当性向を40%から60%へ引き上げるとともに、業績に大きく左右されることなく長期的かつ安定的な利益還元を行うことができるよう、配当性向60%またはDOE8%のいずれか高い数値を配当額決定の基準とするなど、当社の企業価値の一層の向上を図ることを目的として、株主還元方針を下記のとおり変更することといたしました。

なお、次期中計骨子記載の収益性が達成できた場合、下記変更後の株主還元方針に基づくDOEは12%以上となる予定です。詳細は本日開示いたしました次期中計骨子をご参照ください。

(2) 変更の内容

変更前	<p>当社は、長期的視野での経営体質強化および新事業展開等を図るための研究開発や設備投資等を勘案するとともに、<u>業績に応じた利益配分に努め、配当性向40%程度の継続的な配当を行ってまいります。</u></p> <p><u>なお、株主の皆様への安定した利益配分の継続を重視し、1株当たり年間配当金の下限を80円といたします。(※)</u></p> <p><u>また、配当に加えて一層の株主還元の充実を図るため、総還元性向60%程度を目安に機動的な自己株式取得を行ってまいります。</u></p> <p>※当社は、2025年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施したことから、株式分割実施後の1株当たり年間配当金に換算すると20円となります。</p>
変更後	<p>当社は、長期的視野での経営体質強化および新事業展開等を図るための研究開発、設備投資等を勘案するとともに、<u>より長期的かつ安定的な利益還元を実施するため、配当性向60%またはDOE8%のいずれか高い数値を基準として継続的な配当を行ってまいります。</u></p> <p><u>また、次期中期経営計画期間終了時(2029年末)までに、自己資本比率を75%程度とすることの達成に向け、約180億円規模の追加還元を行う予定です。当該追加還元の具体的方法については、市場動向等を踏まえて検討し、自己株式取得や配当など、その時々における適切な方法で行ってまいります。</u></p>

(3) 変更の時期

2027年12月期より適用いたします。

以上